

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和2年度（2020年度）病害虫発生予察注意報第4号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度（2020年度）病害虫発生予察注意報第4号

農作物名 カンキツ、ナシ、カキ等果樹全般
病害虫名 果樹カメムシ類
(主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ及びクサギカメムシ)

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月以降
- 3 発生程度 平年比 多
- 4 注意報発表の根拠

- (1) 合志市に設置しているフェロモントラップ、宇城市及び天草市に設置している予察灯及びフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は、7月4半旬～第5半旬から急増している（図1、2、3）。
- (2) 現在までに熊本市、荒尾市、氷川町、芦北町、錦町、天草市における果樹園で果樹カメムシ類の飛来が認められ、局地的ではあるが大量の飛来があり被害が発生している果樹園も確認されている。
- (3) 福岡管区気象台が7月30日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水も少ないため、果樹カメムシ類の活動が活発になると予想される。

5 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。
- (2) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病害虫防除所のホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>) に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や防除適期の参考にする。
- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。
- (4) ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。
- (5) 薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

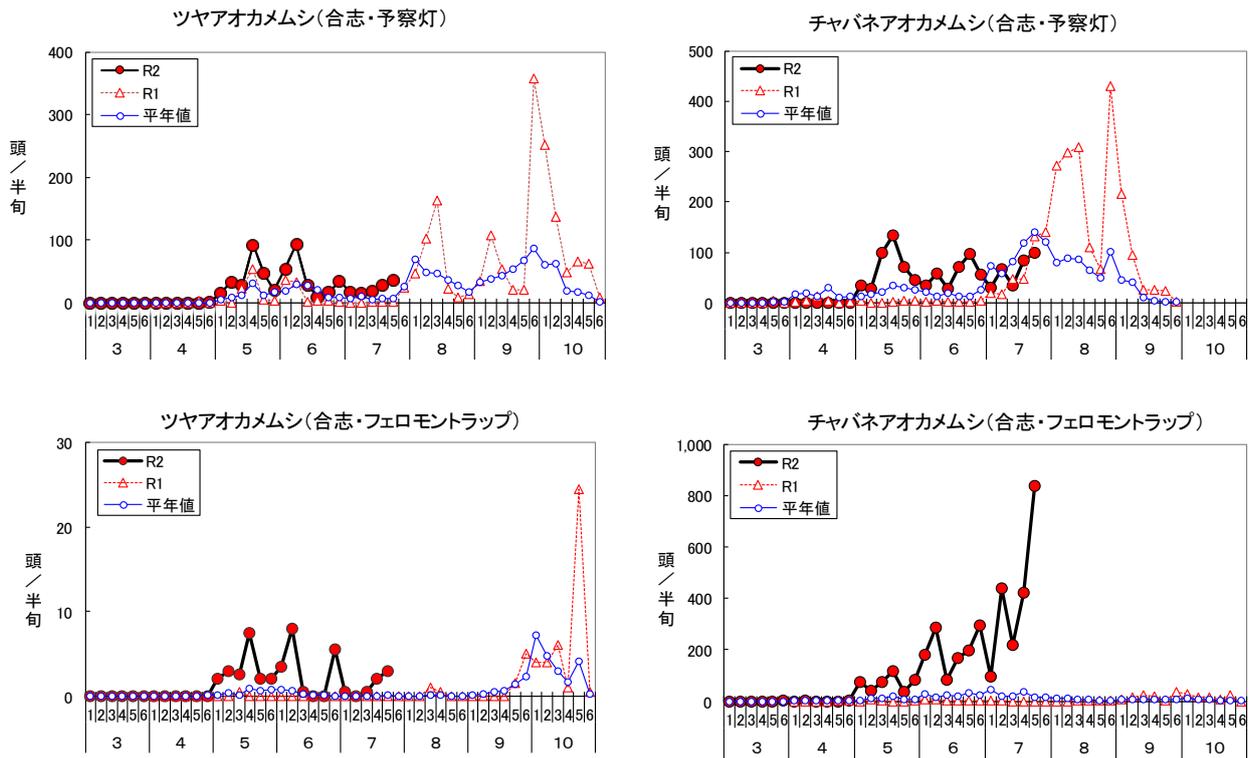


図1 合志市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

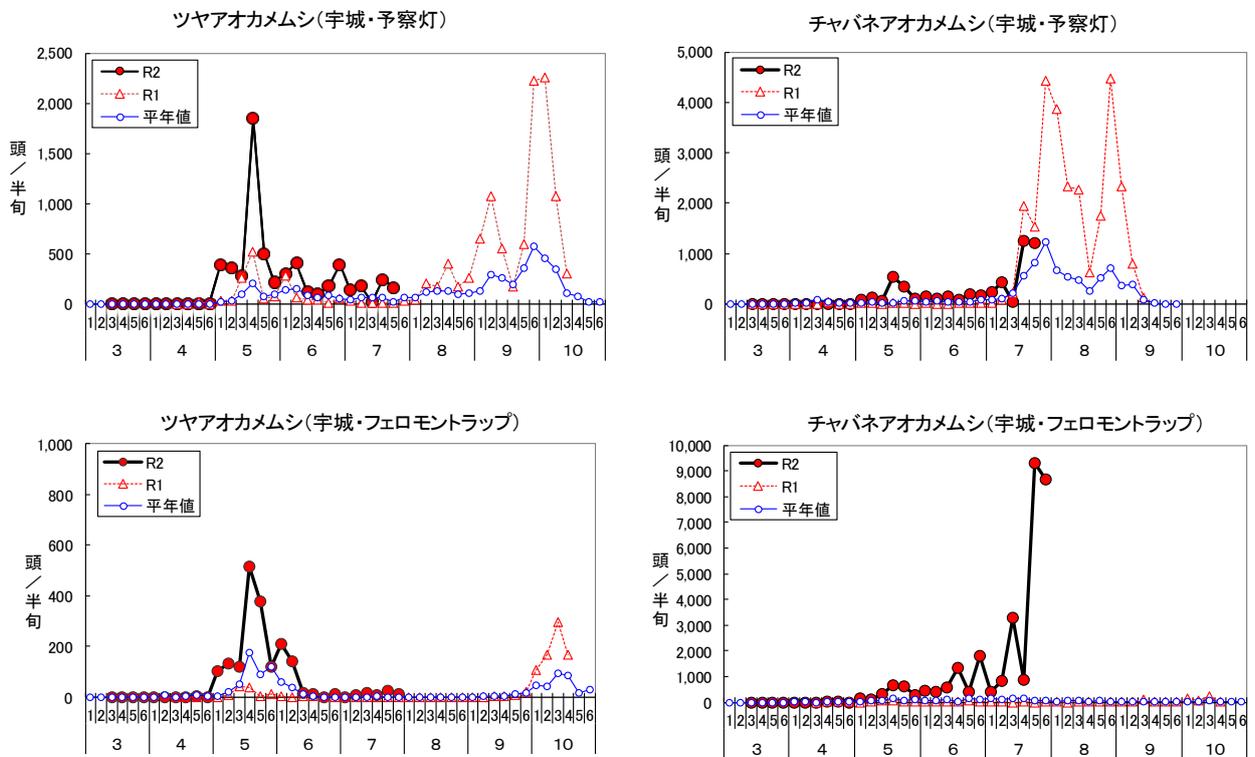


図2 宇城市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：果樹研究所）

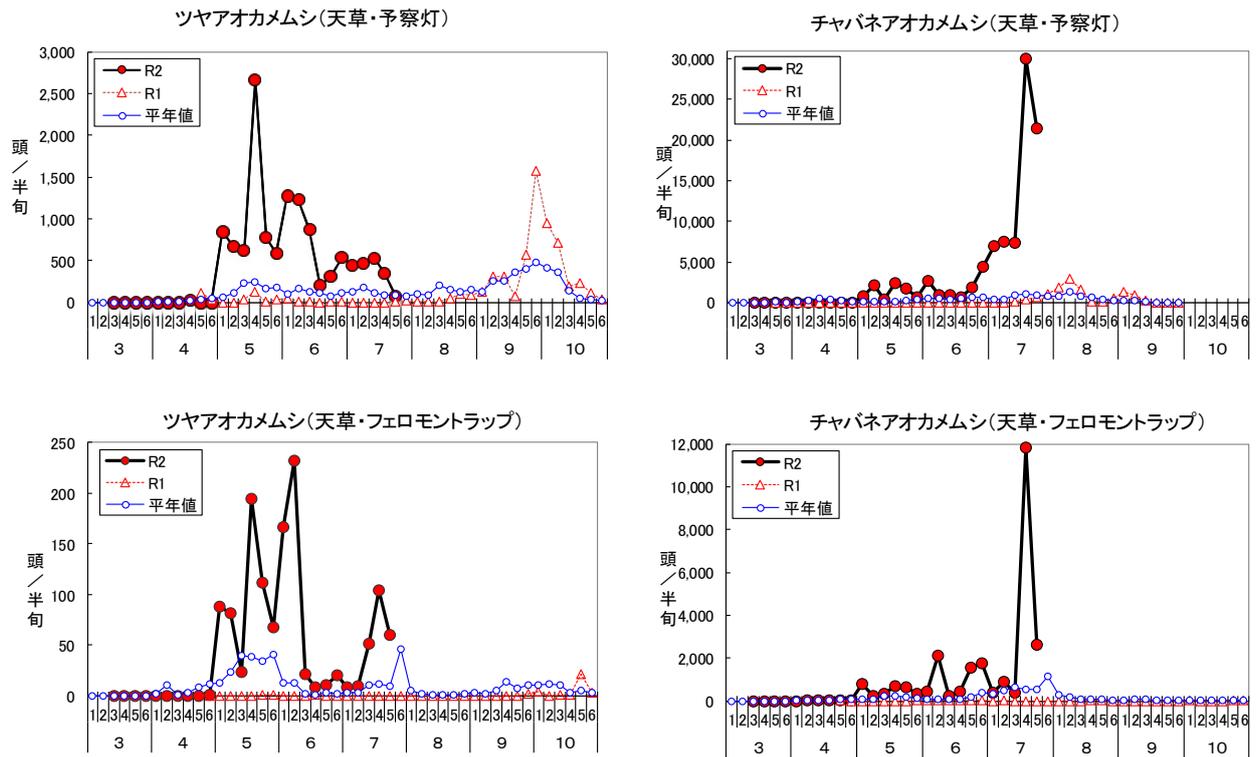


図3 天草市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：天草農業研究所）

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係（病害虫防除所）
 担当：中村、丹 TEL：096-248-6490